



厚生労働省

下関労働基準監督署からのお知らせ

令和6年5月

業種別労働災害発生状況

○令和6年4月末現在

令和6年の業種別災害発生状況(休業4日以上)

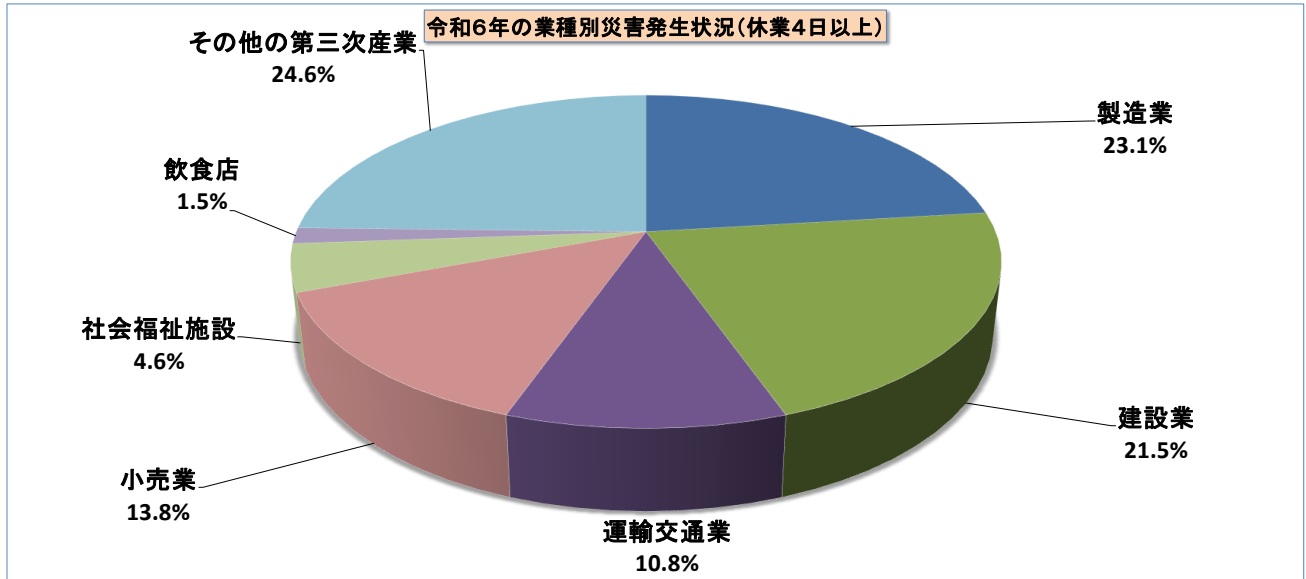
下関労働基準監督署
令和6年4月末現在

新型コロナウイルス感染症り
患による労働災害を除く。

業種	死亡 (前年同期値)	休業災害	合計	構成比※	対前年 増減数	増減率	うち転倒災害件数					
							死亡	休業災害	合計	構成比※	占有率	
全産業	0 (1)	65	65	100.0%	+2	+3.2%		20	20	100.0%	30.8%	
製造業		15	15	23.1%	-7	-31.8%		3	3	15.0%	20.0%	
鉱業					±0	—					—	
建設業		14	14	21.5%	+9	+180.0%						
運輸交通業		7	7	10.8%	-2	-22.2%		4	4	20.0%	57.1%	
貨物取扱業					±0	—					—	
農林業					-3	-100.0%					—	
畜産・水産業					±0	—					—	
第三次産業	(1)	29	29	44.6%	+5	+20.8%		13	13	65.0%	44.8%	
小売業		9	9	13.8%	+5	+125.0%		3	3	15.0%	33.3%	
社会福祉施設	(1)	3	3	4.6%	-3	-50.0%		2	2	10.0%	66.7%	
飲食店		1	1	1.5%	-2	-66.7%						
その他の第三次産業		16	16	24.6%	+5	+45.5%		8	8	40.0%	50.0%	

※端数処理上、合計値が100%にならないことがある。

労働者死傷病報告による



下関労働基準監督署管内において、令和6年4月末までに発生した労働災害は65人で、前年同期と比較して死亡災害は発生していませんが、2人増加しました。

製造業は、15人と前年同期と比較して7人減少しました。最も多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の4人で、前年同期と比較して3人減少しました。続いて多い事故の型は「転倒」、「切れ・こすれ」が、いずれも3人で、前年同期と比較して、いずれも1人増加しました。

建設業は、14人と前年同期と比較して9人増加しました。最も多い事故の型は「はさまれ・巻き込まれ」の5人で、前年同期と比較して4人増加しました。続いて多い事故の型は「墜落・転落」の4人で、前年同期と比較して3人増加しました。

小売業は9人と前年同期と比較して5人増加しました。最も多い事故の型は、「転倒」の3人で、前年同期と比較して1人増加しました。

全業種で最も多い事故の型は「転倒」の20人で、前年同期より6人増加しました。